

第一跨線橋の老朽化に伴う対策について（第4回）

日 時：令和 5年 3月18日（土） 14：00～15：10

場 所：芦屋市民センター（市民会館） 301室

参加者：15名

質 問 ・ 意 見 等	回 答 等
■ 第一跨線橋の撤去工事について	
議会で予算が承認され、撤去する方向で決定なのか。	第一跨線橋撤去事業の令和5年度予算については、委員会で説明しております。（なお、令和5年3月22日に議会で予算が承認されました。）
第一跨線橋撤去の事業ステップについて、各ステップ毎の期間はどれくらいか。	事業期間は過去の事例等を基に JR が算出していますが、詳細な工程は工事協定締結後に、JR による設計・積算の際に算出されます。
第一跨線橋の撤去作業は夜間に行うが、北側及び南側アプローチの撤去作業は昼間の施工なのか。	第一跨線橋の撤去は、鉄道が運行していない夜間に行います。北側及び南側アプローチについては、夜間に軌道敷との境に柵等によって防護処置を行った後、昼間に撤去作業を実施することで計画しております。
第一跨線橋の架替えはもう選択肢にないのか。	第2回説明会で補修、補修及び耐震補強、撤去・地下道、撤去・新橋架設、撤去・迂回路対策の5つの案を比較検討した結果、総合的に判断し「撤去・迂回路対策案」を老朽化対策の方針とすることを説明させていただきました。
北側アプローチは全て撤去されるのか。	北側アプローチは一部橋梁区間があり、橋梁は撤去しますが、軌道敷に近接している橋台等については、撤去できないことから一部残ります。 工事後、北側アプローチについては、フェンスを設置し立入禁止とします。 なお、北側アプローチには、アルパ芦屋の非常口が設置されていることから、非常口を確保する予定です。
北側アプローチの施工ヤード内に地蔵があるが、どうなるのか。	地蔵については、お世話をさせていただいている方と協議しており、撤去の方向で調整しております。

■ 第一跨線橋跡地について	
<p>自転車駐車場にすることは決定なのか。</p> <p>公園として利用、災害時の備蓄倉庫を設置、モニュメントを設置等も検討してほしい。</p>	<p>第一跨線橋を撤去し、用地が整理されるのは数年後となります。</p> <p>現在の自転車駐車場は、原動機付自転車のみが利用できますが、第一跨線橋撤去完了時の利用状況は変化していると思われます。</p> <p>現在の計画では自転車駐車場の拡大を考えていますが、将来の需要に応じて自転車駐車場以外の選択肢も検討します。</p>
■ 駅前広場西線×市道 210 号線の交差点	
<p>車の停止位置によって見通しが悪くなり、右折してくる車に対して危険である。</p>	<p>通学児童に対しては、学校関係者との協議の結果、ソフト面の対策として見守りの強化等で対応できないか検討していただいておりますので、今後も協議を継続していきたいと考えております。</p>
<p>一般の歩行者に対しては対策をしないのか。</p>	<p>横断の際は左右を確認し、安全を確認してから通行していただくようお願いいたします。</p> <p>横断歩道へ右折する車に対しては、ドライバーからの視認性等を考慮して注意喚起の看板を設置する等、対策を検討します。</p>
<p>通学時間帯に警察官による立哨はできないか。</p>	<p>ご意見として芦屋警察へ報告し、協議させていただきます。</p>
<p>国道 2 号から北上してくる車に対して「この先横断歩道あり」といった内容を路面標示できないか。</p>	
■ 県道奥山精道線	
<p>歩道を通行する自転車に対して、啓発をしてもルールを守らない利用者もいるため、そのような利用者に対して対策はできないのか。</p>	<p>道路交通法では、自転車は車道を通行することが原則となっておりますが、子供や高齢者及び大型車の通行により車道を通行すると危険な場合は歩道を通行することができるため、自転車を通行禁止とすることはできません。</p> <p>そのため、啓発の表現の仕方について工夫できないか検討します。</p>
<p>通学の時間帯だけ自転車の通行禁止ができないか。</p>	<p>ご意見として芦屋警察へ報告し、協議させていただきます。</p>

■ 駅前広場西線×芦屋川左岸線の交差点	
親柱をなくすとさらに見通しが良くなるため、なくすことはできないのか。	芦屋川沿いは特別景観地区に指定されており、景観に配慮した意匠にする必要があるため、親柱の撤去は難しいと考えております。 関係部署と協議を行い、「親柱を現状より下げる」及び「高欄のパネルを撤去し、縦柵の間隔を広げる」ことで見通しの改善を図りたいと考えております。
舗装改修の際に滑り止め舗装を採用してほしい。	現在ふれあい橋には、タイル舗装が採用されています。 勾配がある箇所は滑り止め加工がされていますが、経年劣化により機能が低下している可能性があります。 舗装改修後はアスファルト舗装とする予定ですので、滑り止めの効果は確保できると考えております。
■ その他	
迂回路安全対策として地震や津波等の防災面も考慮してほしい。	迂回先の芦屋橋及びふれあい橋については、架設当時の耐震性能は有しております。 津波については、芦屋市津波防災情報マップ（2021年6月発行）によると、迂回先が浸水しない結果となっております。
朝の時間帯に市道 201 号線を抜け道として通行する車が多いため、通学時間帯の通行禁止や最徐行を道路上に標示できないか。	ご意見として芦屋警察へ報告し、協議させていただきます。